

静岡大学・読売新聞連続市民講座 2013 全5回

グローバル化時代を 生きる

参加無料

第1回 2013.7.27[土]14:00~16:00

多文化共生社会に求められる異文化理解能力

多様化が進む現代社会において求められる「異文化理解能力」について、「異文化」の概念とともに、「正しい」異文化との接し方、付き合い方を考えます。

講師：原沢伊都夫（静岡大学国際交流センター教授／日本語教育・異文化コミュニケーション）

第2回 2013.8.31[土]14:00~16:00

次世代を産み育てる新しい社会に向かって～フランスとの比較～

出生率の低下、子どもの貧困、育児と仕事の両立困難に悩む日本社会を変えていくには、どうしたら良いでしょうか。フランスの例を参考に考えます。

講師：船橋 恵子（静岡大学人文社会科学部教授／社会学）

第3回 2013.9.28[土]14:00~16:00

マントル掘削～地球規模の物質循環を探る～

地球のマントルは熱循環過程の要であり、その実体を解明することは地球表層の環境変動を理解する上でも重要です。現在計画されているマントル掘削を紹介しながら地球規模の物質大循環を考えます。

講師：道林 克禎（静岡大学大学院理学研究科地球科学専攻教授／固体地球科学）

第4回 2013.10.19[土]14:00~16:00

グローバル時代の「共同体」

これからの「共同体」を考えるために、これまであった日本と韓国のムラの共同体の例を比較してみることで、そのあり方から学べることを考えます。

講師：金 明美（静岡大学大学院情報学研究科社会系情報学分野准教授／文化人類学）

第5回 2013.11.30[土]14:00~16:00

「新しい公共」と地域づくり

今日、地域社会には様々な課題が存在していますが、それを解決するための仕組みとして提案されているのが「新しい公共」という概念。この講義では、この概念の内容について学び、今後の課題解決の方策を検討します。

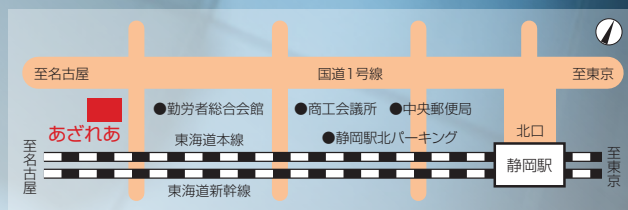
講師：日詰 一幸（静岡大学人文社会科学部法学科教授／行政学・地方自治論）

定員○各回350人 参加費○無料 ※4回以上ご参加の方には修了証を発行します。

会場○あざれあ（静岡県男女共同参画センター）6F大ホール

主催○静岡大学、読売新聞東京本社静岡支局

グローバル化の進展は、世界的な人の移動を加速させ、家族やコミュニティのあり方をはじめ、大きな社会構造の変化をもたらしました。また震災をきっかけに、地球規模での自然環境にも注目されるようになりました。グローバル化の中で、さまざまな変化に直面している現在の日本社会。これからどのような社会を構築していけばいいのか、さまざまな側面から展望します。



【住所】〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

【アクセス】JR静岡駅から国道1号線沿いに西(安倍川の方)へ徒歩9分

FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください。

（FAX）054-252-0310

（メール）shizuoka@yomiuri.com

（葉書）〒420-0853 静岡市葵区追手町9-22 読売ビル3F

読売新聞静岡支局 静大市民講座係

※氏名(ふりがな)、住所、年齢、電話番号、参加される回を明記してください。

申込先

お問い合わせ

内容に関するお問い合わせ

受付に関するお問い合わせ

静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL 054-238-4817 [平日9:30~16:00]
メール:LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

読売新聞静岡支局 静大市民講座係
TEL 054-252-0171 / FAX 054-252-0310
メール:shizuoka@yomiuri.com